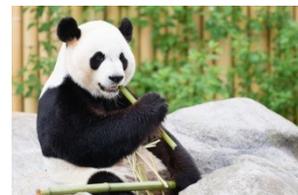


寅さん歩 その18

東京の学食めぐり-27



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者からの要望で始めた「東京都にある大学の学食めぐり」です。最近是一般の人も食べられる学食が増えています。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。学食のメニューや値段は訪問時のものです。右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないよう注意したいです。今回はなかなか訪問の機会がなく、一度は行ってみたかった多摩地域の二つの大学を夏休み前に訪問しました。最寄り駅は代表例です。

〔国際基督教大学〕 三鷹市大澤 3-10-2

最寄駅 JR中央線 三鷹駅南口からバス利用

秋篠宮家長女 眞子さまが卒業し、次女 佳子さまが在学中の大学です。佳子さまは約9ヶ月の英国留学から6月に帰国、9月から4年生に復学とのこと。三鷹駅から国際基督教大学行のバスに乗りましたが、武蔵境駅南口からも同じ行先のバスが出ています。バスは正門のある大学入口と構内の次の停留所（終点）まで行けます。ヨーロッパの森の中に入り込んだような雰囲気でした。



正門（バス停大学入口）



桜並木の構内道路



終点バス停



さらに構内を歩く



正面に大学礼拝堂 左に進むと



食堂棟に到着



食堂棟入口



メニュー



メンチカツ 330 円、小鉢（茄子のピリ辛） 100 円、ライス・味噌汁 110 円です。



昭和 24 年（1949 年）日米のキリスト教指導者の会議で創設が正式に決定。米国型リベラル・アーツカレッジの形式を踏襲している。高松宮宣仁親王が設立準備名誉総裁、当時の日本銀行総裁一万田尚登が募金運動に奔走、GHQ 最高司令官ダグラス・マッカーサーも米国での募金運動に務めたとのこと。昭和 28 年（1953 年）大学開設。リベラル・アーツカレッジとして教養学部 1 学部（文理の区別なく幅広く学ぶ）で、「平和」、「学術基礎」、「専門知識」を統合した日米バイリンガルによる世界基準の「全人教育」を行うことを教学方針としている。留学制度も充実しているとのこと。元中島飛行機三鷹研究所跡地の広大な敷地（東京ドーム 13 個）で校舎は森の中に点在し、良くわかりませんでした。帰りは大学入口まで桜並木を散歩し、武蔵境駅行が来たので乗りました。バス停の数が 5 つで、（三鷹駅からは 12 つ）武蔵境駅から来る方が近かったです。

〔東京外国語大学〕 府中市朝日町 3-11-1

最寄駅 西武多摩川線 多摩駅

JR 中央線武蔵境駅から西武多摩川線に乗り換えます。多摩駅から左折し地下道をくぐり、直進すると大学です。入口はカラフルでアメリカの遊園地入口のような雰囲気でした。まさに東京で学ぶアメリカの大学の感です。



各校舎と学食のある学生会館は 2 F のサークル通路で繋がり、地上に下りずに行かれる仕組みです。

写真右の赤が校舎で、校舎をつなぐ丸円がサークル通路です。

学生会館の 1 F 「ミール」と 2 F 「さばおる」が学食、いずれも大学生協の運営でメニューも似ていました。



公式サイトには『起源は江戸幕府により安政4年（1857年）開校の蕃書調所、明治2年（1869年）開校の「開成学校」（現在の東京大学）、明治6年（1873年）開校の東京外国語学校を**建学の年**、明治20年（1887年）東京高等商業学校（現在の一橋大学）となり、外国語教育の機関は姿を消します。明治30年（1897年）高等商業学校に附属外国語学校開校で**創立の年**、明治32年（1899年）東京外国語学校と改称して**独立の年**としています。昭和24年（1949年）新制大学として発足。キャンパスは神田錦町、東京北西部、北区西ヶ原を経て平成12年（2000年）現在地に移転。外国の言語を基底とする文化一般を研究・教授し、言語を通じて外国に対する理解を深めることを目的として日本と世界諸地域を結ぶ人材を育成する』と記載。学部は言語文化学部(27言語)、国際社会学部(16地域)です。

写真下は学生会館入口と横側です。自販機も洒落た囲いの中にあります。



写真下は1F「ミール」の入口とメニュー棚です。



写真下は2F「さぼある」の入口とメニュー棚です。



三つのおすすめメニューのキーマカレーは食べたつもりで、冷麺（中）432円、瀬戸内レモンのレアチーズ 194円を久しぶりに英語の会話を聞きながら食べました。（写真下参照）



写真下はサークル通路が良くわかります。



写真下右は構内奥の校舎です。いずれも外国を感じさせる構内でした。



次回は 東京の学食めぐり-28 です。

平野 寅次郎 拜